

千葉県における洋上風力発電に係る先行事例の配慮書との比較表

		今回の対象事業	先行事例		
海域		九十九里沖	いすみ市沖	銚子市沖	
事業者名		(株)ユーラスエナジーホールディングス	(株)レノバ	中部電力(株)、三菱商事パワー(株)	
第一種事業の名称		(仮称) 九十九里沖沖洋上風力発電事業	(仮称) 千葉県いすみ市沖洋上風力発電事業	(仮称) 千葉県銚子市沖における洋上風力発電事業	
手続状況		配慮書送付：R4. 11	配慮書送付：R4. 1、知事意見：R4. 4	配慮書送付：R2. 6、知事意見：R2. 9	
事業の内容	事業実施想定区域（以下「想定区域」）	約3,700ha	約10,500ha	約3,948.7ha	
	環境影響を受けるおそれがあると判断される地域	匝瑳市、山武市、大網白里市、九十九里町、横芝光町、白子町	いすみ市、一宮町	銚子市、旭市	
	原動力の種類	洋上風力（着床式）	同左	同左	
	発電所の出力	最大約450MW	最大450MW	288～350MW	
	風車のローター直径（ブレードの回転直径）	約220m～約270m	174m（9,500kW）～236m（15,000kW）	160m（8,000kW）～220m（12,000kW）	
	風車のハブ高さ	約140m～約190m	110m（9,500kW）～154m（15,000kW）	110m（8,000kW）～150m（12,000kW）	
	風車の海面からの最大高さ	約250m～約325m	200m（9,500kW）～280m（15,000kW）	190m（8,000kW）～260m（12,000kW）	
	複数案の設定	規模	12,000kW～18,000kW×最大30基	①9,500kW×47基 ②15,000kW×30基 ※配置については、①②のいずれかを対象とするが、現在検討中。	①8,000kW×37基 ②9,500kW×37基 ③12,000kW×24基
		基礎構造	①モノパイル式、②ジャケット式、③重力式	①モノパイル式、②ジャケット式、③サクシオンバケット式、④重力式	①モノパイル式、②ジャケット式、③重力式
	海底ケーブル敷設位置・陸揚げ地点		想定区域に含まれていない。（陸揚げ地点の候補は片貝漁港区域内）	想定区域に含まれていない。（今後の事業計画の検討において決定）	想定区域に含まれていない。（方法書手続き以降に決定）
工事等の拠点となる港を含む地域		環境影響を受けるおそれがあると判断される地域に含まれていない。（記載なし）	環境影響を受けるおそれがあると判断される地域に含まれていない。（検討中）	環境影響を受けるおそれがあると判断される地域に含まれていない。（記載なし）	
想定区域から沿岸までの最短距離		約9.4km	3km	約1km	
想定区域及びその周囲の概況	自然的状況のうち特徴的事項	「生物多様性の観点から重要度の高い海域」（平成28年4月環境省）が想定区域に含まれておらず、想定区域周辺にも存在しない。	「生物多様性の観点から重要度の高い海域」（平成28年4月環境省）が想定区域周辺に存在するものの、想定区域に含まれていない。	「生物多様性の観点から重要度の高い海域」（平成28年4月環境省）が想定区域に含まれている。	
		—	いすみ市の東方海域には「いすみ根（器械根）」と呼ばれる水深20m前後の浅い岩礁群が沖合10km以上先まで広がっている。	—	

